

# 第3回奄美高校レストラン

## ～THE NEXT BATON <sup>つなぐ</sup> 紡～

国分信哉（知的財産推進係）

### 1 概要

平成29年度より、「独立行政法人工業所有権情報・研修会 知的財産に関する創造力・実践力・活用力開発事業」ならびに「奄美市魅力ある学校づくり」の支援事業として「奄美高校レストラン」を開催し、今年で3回目を迎えた。本校設置学科である機械電気科・商業科・情報処理科・家政科・衛生看護科が横断的連携により、各学科の特色を活かしたおもてなしを通して奄美の魅力を国内外へ発信し、インバウンドを誘発することで地域経済の活性化に繋げることや、将来の地域創生のリーダーとして活躍する人材の育成を目指している。「第3回奄美高校レストラン」とこれまでの活動の詳細は以下の通りである。

### 2 目的

- (1) 奄美の食材を活用した料理を提供することで、来店されたお客様に奄美の魅力を知ってもらい奄美にまた行きたい、口コミで奄美の魅力を発信してもらいインバウンドを誘発する。
- (2) 奄美高校レストランを通して、生徒自身が奄美の良さについて理解し、郷土愛を深め自信と誇りをもって、将来、地域創生のリーダーとして活躍する人材を育成する。
- (3) 様々な分野のプロフェッショナルと協働で取り組むことで、高度な技術の習得や職業観の育成、おもてなしの精神を醸成する。

### 3 日時

#### 1日目

令和元年8月1日（木）11：30～14：30  
（受付 11：00～11：30）

#### 2日目

令和元年8月2日（金）11：30～14：30  
（受付 11：00～11：30）

### 4 場所

レストラン会場	奄美高等学校	5階	2年5組教室・3年5組教室・多目的教室3
ハンドマッサージ会場	奄美高等学校	4階	1年6組教室・2年6組教室
販売活動会場	奄美高等学校	1階	エレベーター前

### 5 対象

- 1日目 島内招待客（奄美高校レストラン協力者、近隣中学校及び地元関係者） 48名
- 2日目 海外観光客（クルーズ客船 サン・プリンセス号乗船の台湾人観光客） 48名

### 6 費用

無料（産業教育体験学習目的のため、アンケートへ協力依頼）

## 7 集客方法

- 1 日目 事前に招待状を郵送
- 2 日目 当日, 寄港場所でチラシによる集客 (奄美観光物産協会の協力による)

## 8 学科間連携 (校内コンソーシアム体制)

学 科 名	役 割
機械電気科	櫓製作・バーチャルマネキン筐体製作・センターピース製作・ナプキンリング製作・看板製作
商業科	企画・運営・チラシ制作・ポスター製作・バスガイド・営業用名刺製作・接客 ・本校 P B 商品販売活動・生徒商業研究発表大会出場 (成果報告)
情報処理科	企画・運営・バーチャルマネキンキャラクター製作・P V 製作・奄美自然風景動画製作・バスガイド・メニュー表製作・横断幕製作・本校 P B 商品販売活動・鹿児島県生徒商業研究発表大会出場 (成果報告)
家政科	レストランメニュー開発・調理・ユニフォーム製作 (大島紬使用)・ネクタイ製作 (大島紬使用) テーブルクロス製作 (泥染め使用)・メニューカバー製作 (泥染め使用)・料理サーバー
衛生看護科	アロマセラピー製作・ハンドマッサージ
英語科	語学指導 (英語・中国語)

## 9 地域連携 (校外コンソーシアム体制)

	機 関 名	役 割
1	奄美市商工労働部観光課	大型客船との連携
2	奄美市教育委員会	教育機関との連携・本事業支援
3	奄美市役所	通訳 (英語・中国語)・語学指導
4	P S P (パリ薩摩黎明館プロジェクト)	レストラン運営・調理・メニュー開発・P V 製作
5	あまみ大島観光物産連盟	観光パンフレット提供・集客アドバイザー
6	大島紬協働組合	大島紬貸与・販売商品提供
7	奄美高校定時制商業科	全日制・定時制の連携
8	山羊島ホテル	食器やテーブルクロスの貸与・テーブルマナー
9	有限会社田中印刷所	3 D 広告システム・アバター開発
10	あまみカメラ	奄美自然風景動画製作
11	奄美看護福祉専門学校	バスの貸与・テーブルマナー
12	奄美市内中学校関係者	レストランモニター調査
13	奄美大島観光協会	関係機関との調整
14	デザイン ART WORKS 島ノコタチ	地域ビジネス・マーケティング

10 開催プロセス（第3回奄美高校レストラン）



図1 【ル・クロオーナーシェフ 黒岩功氏 講演会『成りたい夢への挑戦』】



図2 【黒岩功氏のメニュー開発指導および試食会】



図3 【泥染めによるメニューカバー製作】



図4 【田中印刷所 田中由一氏 バーチャルマネキン製作講座】



図5 【本番前日準備】



図6 【 1日日本番の様子（島内招待客） 】

※写真左上から お出迎え→受付→島唄披露→盛り付け→おもてなし→ハンドマッサージ→特産品販売



図7 【 2日日本番の様子（サンプリンセス号 海外観光客） 】

※写真左上から 港でお出迎え・集客 → バスガイド・島唄披露 → 学校でお出迎え  
 → バーチャルマネキンによる英語で接客 → 郷土芸能披露 → 盛り付け → おもてなし  
 → ハンドマッサージ → 特産品販売

## 11 アンケート分析による検証

(1) 島内招待客の検証 (回答 42名)

Q1 奄美高校レストランの料理はいかがでしたか。

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
40	2	0	0	0

Q2 奄美高校レストランのスタッフの対応はどうでしたか。

満足	やや満足	普通	やや不満	不満
38	4	0	0	0

Q3 奄美高校生が作成したバーチャルマネキン・テーブルクロス・センターピース・自然風景動画映像はどうでしたか。

大変良い	良い	普通	良くない	全然良くない
36	6	0	0	0

Q4 奄美高校レストランを続けてほしいですか。

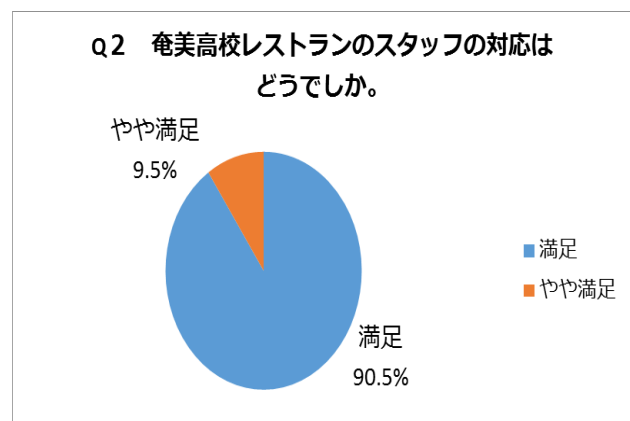
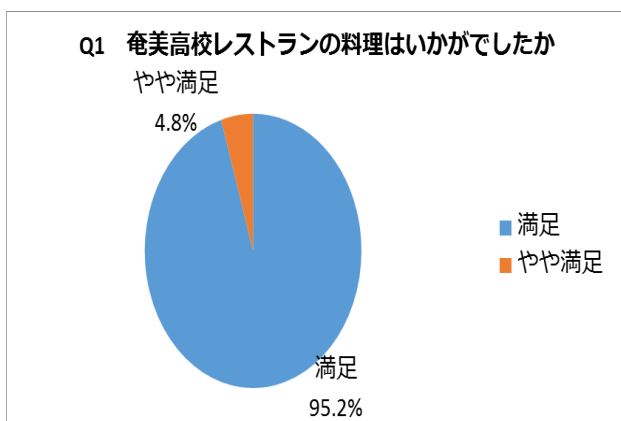
はい	いいえ
42	0

Q5 今日の料理が有料だった場合、いくらであれば食べたいですか。

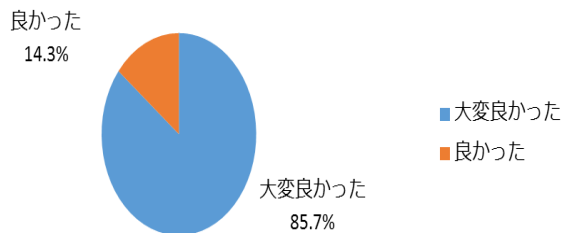
0～1,500円	1,501～3,000円	3,001～5,000円	5,000円以上
3	12	14	13

※お客様の平均金額

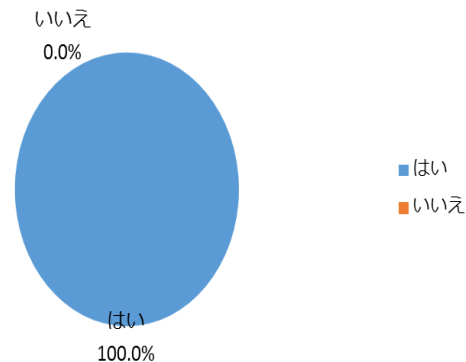
平均
4,495円



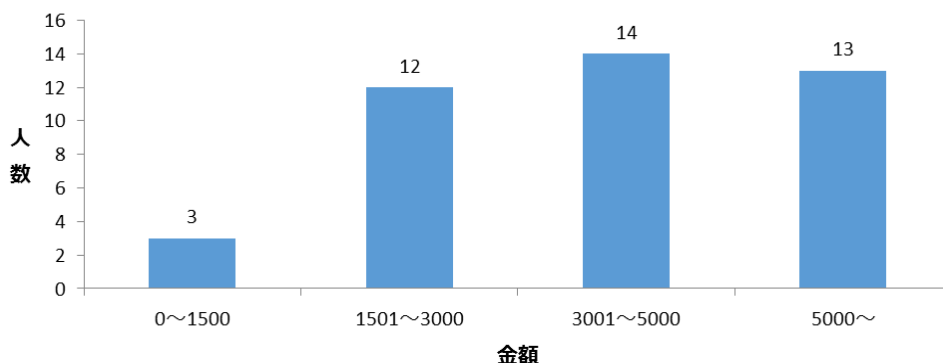
**q3 奄美高校生が作成したバーチャルマネキン・ブックカバー・ナプキンリング・自然風景動画はどうでしたか。**



**q4 奄美高校レストランを続けてほしいですか**



**q5 今日の料理が有料だった場合、いくらであったら食べたいですか**



**Q6 奄美高校レストランに関してご意見があれば教えてください。**

- ・お料理運ぶ人、案内、説明、演出どれもすばらしかったです。メニュー（BOOK）は何かの参考にしたいです。細部に心がこもっていました。ありがたまりよーた。
- ・スタッフも多いのでせっかくだから積極的に話しかけたり、感想を聞いて回っても楽しいかなと思いました。これからも頑張ってください。
- ・1つ1つの料理はとてもおいしいのですが、茶碗蒸し→煮物がどちらも濃い味でした。バランスがよければなお良いと思います。高校生のみなさんの対応はとても素敵でした。ありがとうございました。
- ・すばらしい学びの場です。皆さんのこれまでの努力が形となって表現されていました。多くの市民の方々にサービスを提供できればより素晴らしいと思います。ありがとうございました。
- ・笑顔がすてきな奄美レストラン、とてもすばらしいです。みなさんが心を込めておもてなししてくださっているのが伝わります。ありがとうございます。
- ・毎年実施し、一般の市民（小・中学生）に食べさせたい。
- ・もっと多くの人にこの取り組みを知ってもらいたいと思います。有料でもいいので、予約制などして一般の人に開放できたらいいなと思います。
- ・とても素晴らしかったです。また来年も来たいと思いました。
- ・接客マナーも最高によかった！全体のトータルバランス良い。
- ・炎天下の中でのお出迎え、4月から準備をされていたとうかがい、今日1日に生徒さんが一生懸命取り組まれてきたことが、いたるところに輝いていました。芸能部の方のセレモニーもとてもよかったです。来年もきたいです。

(2) サン・プリンセス号乗船客（海外観光客）（回答44名）

Q1 年代・性別

0代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
4	7	5	5	10	5	9	3

男性	女性
20	28

Q2 奄美高校レストランはいかがでしたか。

① スタッフの対応

大変良い	良い	普通	良くない	全然良くない
43	1	0	0	0

② バーチャルマネキン

大変良い	良い	普通	良くない	全然良くない
39	5	0	0	0

③ テーブルクロス・ブックカバー

大変良い	良い	普通	良くない	全然良くない
42	2	0	0	0

④ 映像

大変良い	良い	普通	良くない	全然良くない
38	1	5	0	0

⑤ 気に入ったメニューはあったか

はい	いいえ	無回答
43	0	1

⑥ このレストランにまた来たいですか

強く思う	思う	どちらでもない	思わない	強く思わない
36	6	1	0	0



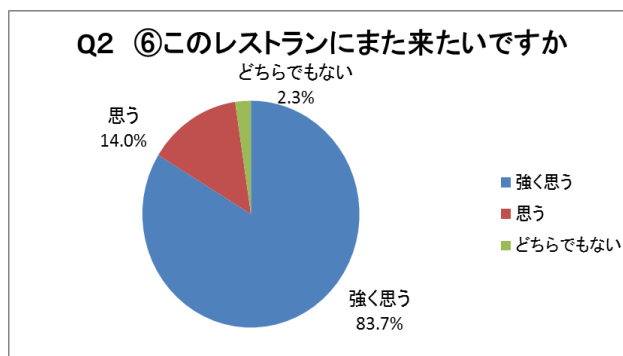
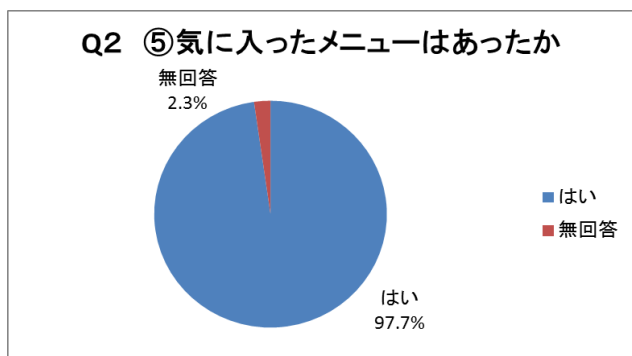
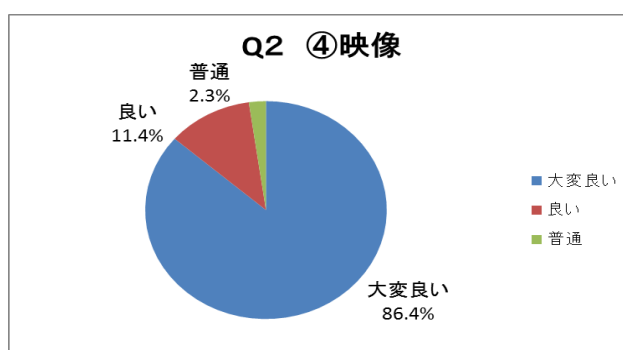
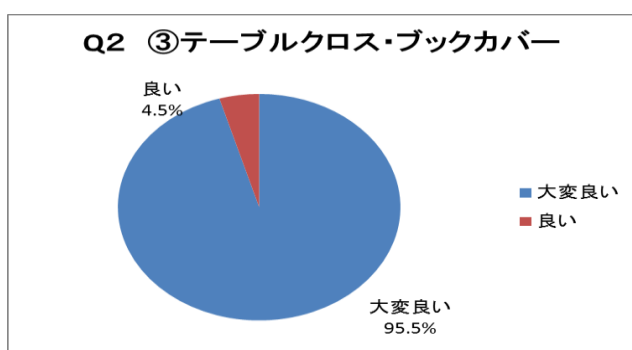
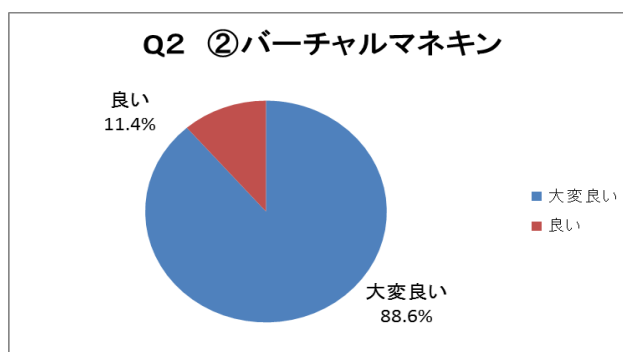
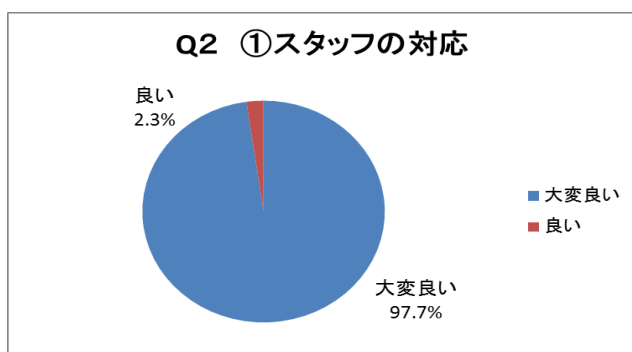
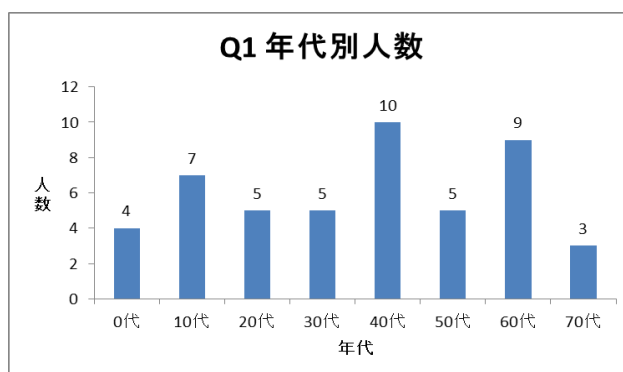
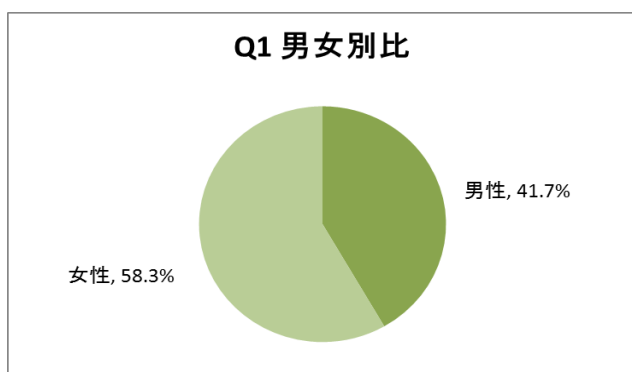
Q3 このような高校生の活動についてどう思いますか。

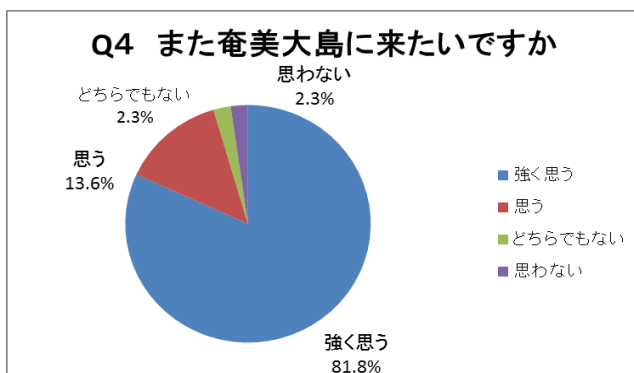
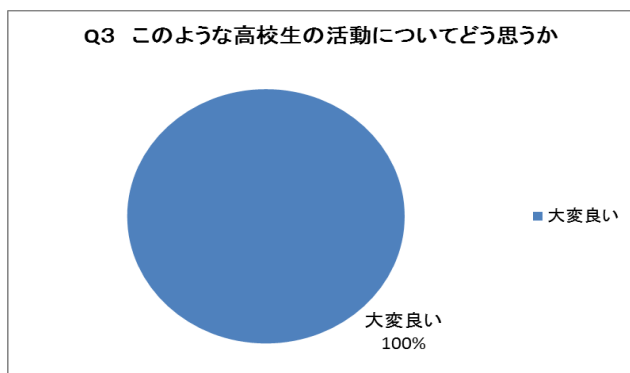
大変良い	良い	普通	良くない	全然良くない
44	0	0	0	0

Q4 また奄美大島に来たいですか。

強く思う	思う	どちらでもない	思わない	全然思わない
36	6	1	1	0

※ 『思わない』の回答理由は「奄美以外の多くの観光地を訪れたいので。」





## 12 アンケート分析による考察

### (1) 島内招待客

『奄美高校レストランの料理はいかがでしたか。』の質問に対し、満足 95.2%、やや満足 4.8%と肯定的な回答は 100%という結果から、奄美の特産物を活用したオリジナル料理は好評を得たと理解している。

『奄美高校レストランのスタッフの対応はいかがでしたか。』の質問に対しては、満足 90.5%、やや満足は 9.5%と肯定的な回答は 100%であるが 1 割のお客様はおもてなしが不十分であったと感じていたことが分かった。理由として、「スタッフも多いのでせっかくだから積極的に話しかけたり、感想を聞いて回っても楽しいかなと思いました。」といった意見をいただき、食事中のおもてなしの中でお客様に積極的に話しかけるなど工夫が必要であることが分かった。

『奄美高校生が作成したバーチャルマネキン・テーブルクロス・センターピース・自然風景動画映像をどうでしたか。』の質問に対し、大変良かった 85.7%、良かった 14.3%と肯定的な回答は 100%であったので、奄美の伝統工芸や自然風景を活かした生徒作品、どこのレストランにもない接客ツール「バーチャルマネキン」は概ね好評を得ることができた。

『奄美高校レストランを続けてほしいですか。』の質問に関しては、はいが 100%という結果から、奄美高校レストランを継続的に続けてほしいという地域の方々の強い思いを感じるとともに、本校の特色ある教育活動に対して期待の高さを感じた。

『今日の料理が有料だった場合、いくらであれば食べたいですか。』の質問に対しては平均 4,495 円という結果から、収益性を兼ねた有料開催(今回は支援事業の一環として助成金を活用して実施)でも持続可能であることや、奄美の食材を使ったオリジナル料理やお出迎えからの一連のおもてなしの質の高さが証明されたと理解している。

### (2) サン・プリンセス号乗船客 (海外観光客)

『スタッフの対応』に関しては、大変良い 97.7%、良い 2.3%と肯定的な回答が 100%に加え、大変良いの割合が非常に高かったことから、寄港地からのお出迎え、バスガイド、郷土芸能披露、接客、ハンドマッサージ、販売活動、お見送りといった高校生のおもてなしは十分に満足して頂いたと考えた。

『バーチャルマネキン』に関しては、大変良い 88.6%、良い 11.4%と肯定的な回答が 100%ということから、本校生徒が開発したバーチャルマネキン「結ちゃん」はレストランの付加価値を高める要素としてお客様に満足して頂いたと感じている。

『テーブルクロス・ブックカバー』に関しては、大変良い 95.5%、良い 4.5%と肯定的な回答が 100%の評価から、奄美伝統工芸「泥染め」を活用して製作したことで食事以外にも奄美らしさ感じ

ていただいた。また、ブックカバーに関してはお土産として提供したことで、お客様にとっても忘れられない思い出のひとつになったのではないかと推測している。

『映像』に関しては、大変良い86.4%、良い11.4%、普通2.3%と肯定的な回答は97.7%という結果であった。食事中に奄美の自然風景動画を放映したが、食事の合間にプロの料理人と生徒が3会場をローテーションでデモンストレーションを実施したため、ゆっくり鑑賞する時間が無かったのではないかと考察した。

『気に入ったメニューはあったか』といった質問に関しては97.7%が「はい」と答えたため、奄美の食材を活かしたオリジナル料理は海外のお客様にも十分に受け入れられたと感じている。しかし、お客様の中にベジタリアンの方がいたことを把握できておらず、食事を一切摂られないお客様も存在した。アレルギーの有無に関しては受付で確認したが、宗教的な観点や嗜好の観点も含めて集客の工夫が今後の課題であるように感じた。

『このレストランにまた来たいですか。』に関しては強く思う83.7%、思う14.0%、どちらでもない2.3%と肯定的な回答が97.7%という結果から、継続的に奄美高校レストランを開催することの重要性と、高校生のおもてなしが海外観光客のニーズに答えることが出来た評価であると考えた。

『このような高校生の活動についてどう思いますか。』に関しては100%の「大変良い」という回答結果から、高校生が地域やプロと連携し、国内外へ奄美の魅力を発信する活動に対して高い評価を得ることが出来た。

『また奄美大島に来たいですか。』という質問に対しては強く思う81.8%、思う13.6%、どちらでもない2.3%、思わない2.3%の結果から肯定的な意見が95.3%と高く、奄美高校レストランを実施したことでインバウンドを誘発するきっかけを作ることができたと考察している。思わないと答えたお客様の理由は「奄美以外の多くの観光地を訪れたいから」ということから、奄美大島に対する悪いイメージを抱いたわけではなく、奄美高校レストランの取組に関しては肯定的な回答だった。

総合的な考察として、最大の目的であった奄美の食材を活用した料理を提供し、伝統工芸や伝統芸能を披露することで奄美の魅力を海外の方に知ってもらい、「奄美にまた行きたい」、地元に戻ったときに「奄美はすごく良かったよ」と口コミで広げてもらうといったインバウンドの誘発に繋げることができたと感じている。また、奄美高校レストランの料理や接客はもちろん、お出迎えからお見送りまで一連の流れの中で、奄美大島の自然や歴史、人間味を全身で感じて頂けるような様々な工夫をしてきたことが、お客様にも伝わったと考えている。地域からも継続的に開催してほしいという意見と共に、今回は島内招待客を限定しての開催であったが、有料開催でも構わないので、多くの地域住民に奄美高校レストランの料理やサービスを提供してほしいといった前向きな感想もあった。海外のお客様に対して、言語やコミュニケーションの難しさはあったが、高校生の精一杯のおもてなしを通して、お客様のたくさんの笑顔を見ることができたことが、何よりも成功の証であったと感じる。

### 13 生徒の変容

#### レストラン実施前の気持ち（一部抜粋）

- ・今回は外国のお客様が来ると聞いたときは、英語が苦手な私に接客係が務まるのか不安でした。毎日みんなで接客の練習をして、英語での接客練習を何度繰り返しても本番が不安でした。料理を運ぶ時に、こぼしてしまわないか、料理の正面をお客様に向けて、テーブルに置くことができるかなど不安がたくさんでした。
- ・正直、成功するか不安だったし、外国人とも上手くコミュニケーションがとれるか分からなかった。本番前は、緊張して早く本番を迎えたいとは思わなかった。
- ・不安が大きく、大分気落ちしていました。期日までに終わるか？成功するのか？悩みの種はそこから中にありました。早く終わらないかなとか、中止にならないかなとも思ったりしていました。正直この時期ほど学校に行きたくないと思った日はありませんでした。
- ・レストラン準備は、リーダー達を中心にみんな頑張っていたけど、それでもぎりぎりまでバタバタしていて、内心うまくいくか心配だったけど、プロの方々が全力で勇気づけてくれたので、笑顔で頑張ろうという気持ちになれた。
- ・2日目の奄高レストランに不安しかありませんでした。外国の方を相手に集客を行うのがとても不安で、正直10人くらいしか集まらないと思っていました。台湾の方は怖くないのだろうかとか私達（集客）のせいで接客係の仕事がなかったらどうしようかと思いました。バスの中での進行とか英語の発音が不安でした。英語が合っているか、進行はこのスピードで大丈夫か、台湾人に伝わるのか怖かったです。
- ・成功させられるか不安が大きかった。台湾の方に接客でどう伝えたらいいのか分からなかった。私は、あまり英語も話せなくて人とコミュニケーションをとるのが苦手なのできちんと伝えられるか心配が大きかったです。
- ・接客の時に動揺してしまったり何か質問された時に対応できるか心配だった。緊張してあまり眠る事が出来なかった。様々なアクシデントをイメージしていた。
- ・私自身、経験したこともないのに“接客は絶対ムリ！”と思っていました。知らない人相手に笑顔で話すのも人見知りだったし、不安でした。そして、色々あったりして、うまくいかないんじゃないかと正直思っていました。
- ・実施前は、あまりモチベーションも上がらず、成功するかなという不安は前日まですごくあった。レストラン実施前日もずっと立ちっぱなしでできつく感じた。帰宅時刻も6時前で本番に疲労が残った。足がぱんぱんになって、1日もつか不安だった。

## レストラン実施後の気持ち（一部抜粋）

・参加できて良かった！忙しくて大変だったけど、島の人や台湾の方々と奄美高校レストランを通して交流できて良かった。とてもやりがいを感じることもできる、奄美高校にしかない取り組みだったと思う。

・本当にやってよかった。料理もうまく運べて、お客様の笑顔もみんなの笑顔も見れて最高の二日間。こんな体験ができてよかった。

・みんな全然まとまらなくて、ごたごたばかりで、上手くいかない、そう思っていたけれど色々な人の間にきずなや友情が芽生えたりして、とてもやって良かったな、最後しっかり参加できて良かったなと思います。

・やって良かったと思う。人前に出る事で、度胸も付いたし、人間として成長できたと思います。この経験を活かして、様々なことに挑戦したいと思う。プロに出会えて、目標が定まった。特に江上さんと出会えたのが大きかった。

・実施して、接客はお客様の笑顔が一番間近で見られる最高のポジションであることを知りました。お客様が笑顔だと自分も楽しい気持ちになりました。また、笑顔で感謝の気持ちを伝えられたとき、とても嬉しくなりました。接客はやりがいがあり、やって良かったと思えました。

・本番はあまり緊張もせず笑顔でお客様を迎えられて良かった。お客様の笑顔と「ありがとう」が何よりも安心感と達成感を味わうことができた。みんなで1つのものを作り上げ、成功したことは本当に嬉しかった。こんなにもすごい人達に、サポートしてもらい、実施前の自分の気持ちがすごくみじめに思えた。自分も成長することができた良い体験だった。

・達成感がとてもありました。実施前の気持ちとは異なり、このプロジェクトに取り組んで良かったと思えました。準備や練習は本当に大変でしたが、今思うと、全てが思い出だなと感じます。私たち高校生にしかできないおもてなしができて本当に良かったです。

・私達にとってすごく大きな経験になったと思います。外国の方に接客というのは初めてで、しかも日本語はあまり伝わらないとの部分で緊張も大きくて不安もありました。でも、台湾の方はずごく優しくかったです。言葉はあまり伝わらなくても笑顔とジェスチャーで相手に伝わり、お客様を満足させられたと思うし、笑顔になってくれて帰りのバスに乗る時に「Thank you」と言われすごくうれしい気持ちになりました。同じ学年でも関わりがない人とも関わる事ができて良かったです。

・受付で、少し戸惑いもありましたが、何とかジェスチャーで通じ合ったのですごくうれしかったです。バスの中でも、自己紹介をしたら、名前を呼んでくださったり、拍手してくださったりしたので、外国人に言葉が通じなくても、行動で人の温かさが実感できてうれしかったです。

## 14 総括

奄美大島は2017年3月に奄美群島国立公園に指定されました。また、2018年はNHK大河ドラマ「西郷どん」の舞台の一つとして大きく注目されました。さらに、関東や関西、鹿児島から奄美空港へのLCC直行便が就航したことや、国内外から寄港するクルーズ客船数が年々増加していることから、奄美大島への来島者は今後も増加していくことが予想されています。その追い風に加え、2020年には世界自然遺産登録も見込まれており、奄美大島は国内外において知名度の向上も期待できます。

そのような状況の中、高校生が地域課題を研究し、高校生のアイデアやこれまで学習してきた各学科の専門知識を活かした「おもてなし」を提供することで地域活性化に貢献することはできないかと考えました。本校は機械電気科、商業科、情報処理科、家政科、衛生看護科、また同じ学校内に定時制も有しています。それぞれの専門学科の特色を最大限に活かした教科横断的取組により、ただ料理を提供し喜んでもらう「おもてなし」ではなく、他のレストランにはないオリジナル料理やサービス、様々な奄美の魅力が詰まった付加価値を提供することで、来られたお客様が「もっと奄美のことを知りたい」「また、奄美に行ってみたい」また「奄美の素晴らしさをロコミで拡散」してもらい、インバウンドを誘発する活動を高校生の取組で貢献したいという思いから始まりました。「奄美高校レストラン」の実施にあたり、1年次は基礎学習、2年次は応用学習、そして3年次に実践的・体験的学習と、体系的・発展的な教育課程の編成と教科横断的なカリキュラムマネジメントの充実を図りながら教育活動を展開してきました。

第1回、第2回の「奄美高校レストラン」は島内招待客、島外観光客、クルーズ客船パシフィックビーナス号日本人乗船客を対象に実施しました。そして「第3回奄美高校レストラン」は、島内招待客とクルーズ客船サン・プリンセス号乗船客の台湾人乗船客を対象に実施しました。アンケート分析による検証結果で示したように、過去の結果を見ても「奄美高校レストラン」に対する評価は極めて高いもので、国内外の観光客にもインバウンドを誘発できた取組であったと確信しています。また、地元紙や地方紙、各テレビ局にも大きく取り上げていただき大きな反響もありました。生徒の気持ちも実施前は不安な気持ち、やりたくない気持ちをもっている生徒がほとんどでしたが、実施後は達成感でいっぱい、やって良かった、とても良い経験ができたと携わった全ての生徒がこの取組に対して前向きな気持ちへと変容しており、高い教育効果があったことも証明されました。

「奄美高校レストラン」を通して、地域や伝統工芸、奄美の魅力を認識するきっかけとなり、将来の奄美大島を担う地方創生のリーダーとして活躍する人材育成にも繋がったのではないかと考えています。また、様々な分野のプロフェッショナルと協働で取り組むことで、高度な技術の習得や職業観・勤労観の育成、おもてなしの精神を醸成することができたと考えています。

今後、世界自然遺産登録されたことを仮定した場合、さらに多くの外国人観光客が奄美大島へ来島し、ますますグローバル化が進展することも予想されます。生徒が世界に目を向け、グローバルな視点で物事を捉える人材の育成も今後の課題となります。そのためには外国語教育の充実、宗教や文化の違いという視点も必要になります。PDCAサイクルを充実させながら、継続的・発展的な教育活動を展開し、将来の奄美大島を支える人材育成につなげていきたいと考えています。

### ※奄美高校レストランに関するプロモーションビデオ紹介

Y o u T u b e

